

令和5年度 糖尿病性腎症重症化予防セミナー 実施状況調査 集計結果報告

国民健康保険中央会
保健福祉部 保健事業課

目次

I 調査概要	2
II 令和5年度 調査結果集計報告	4
1. 糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況	5
2. 糖尿病性腎症重症化予防セミナーの参加状況	8
3. 糖尿病性腎症重症化予防セミナーの実施状況	10
4. 糖尿病性腎症重症化予防セミナーの振り返り	13
5. 糖尿病性腎症重症化予防セミナーへの「セミナープログラム」の活用状況	19
6. 「糖尿病性腎症重症化予防セミナーの研修プログラム」	21
III 令和5年度の調査結果まとめ	22
IV 令和元年度～令和5年度 5年間の調査結果集計報告	24
1. 令和元年度～令和5年度 5年間の調査結果まとめ	25
2. 糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況（経年比較）	26
3. 糖尿病性腎症重症化予防セミナーの参加状況（経年比較）	31
4. 糖尿病性腎症重症化予防セミナーの実施状況（経年比較）	32
5. 糖尿病性腎症重症化予防セミナーの振り返り（経年比較）	35

I 調査概要

糖尿病性腎症重症化予防セミナー実施状況調査

◆調査目的

令和元年7月、「糖尿病性腎症重症化予防セミナーワーキング・グループ」にて検討した「糖尿病性腎症重症化予防セミナーの研修プログラム」（以下「セミナープログラム」という）を国民健康保険中央会（以下「国保中央会」という）より発出。また、令和4年1月には改訂版を発出した。当該プログラムに基づき、国民健康保険団体連合会（以下「国保連合会」という）では保険者（都道府県、市町村、国民健康保険組合（以下「国保組合」という）、後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という））を対象に研修を実施している。
本調査は糖尿病性腎症重症化予防セミナーの実施状況について把握し、「セミナープログラム」他、各種資料等の見直し等に活用する。

◆調査概要

年度末に実施している事業報告書の一部を「セミナー実施編」とし、国保連合会を対象に以下の調査を実施。

区分	調査対象	調査時期	調査内容
糖尿病性腎症重症化予防セミナー	国保連合会	令和6年1月12日～ 令和6年3月29日	セミナーの開催状況、参加状況、セミナー実施の振り返り、セミナープログラムについて 等

◆回収状況

調査対象数	回収数	回収率（％）
47	47	100

Ⅱ 令和5年度 調査結果集計報告

1.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況

○糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況

○糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況は、「開催した※」国保連合会が33連合会(70.2%)であり、「開催しなかった」は14連合会 (29.8%)であった。

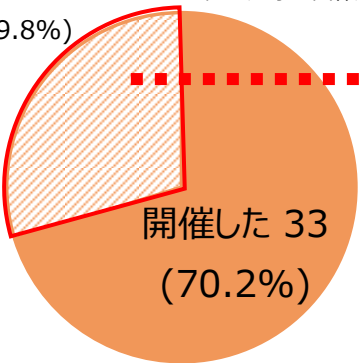
○令和4年度と比較すると、開催した国保連合会は2連合会減少していた。

★開催した都道府県については、右表参照（開催は○）。 セミナーの参加人数については、P.8参照。

令和5年度

開催しなかった 14 (29.8%)

調査対象：国保連合会 回答数：47



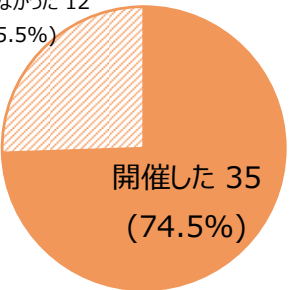
経年比較

主催・共催ではないが関わっている		全体	5
具体的内容 (複数回答)	資料提供した		2
	講演した		1
	その他（県主催の研修会に参加等）		4
関わっていない		全体	9
具体的内容 (自由記述)	県が開催している		4
	他のセミナーで糖尿病重症化予防の内容を実施		2
	未回答		3

令和4年度

開催しなかった 12 (25.5%)

調査対象：国保連合会 回答数：47



※「開催した」に該当するのは、国保連合会が主催者または共催者として関わったセミナーであること（他研修等に組み込み実施した場合やヘルスサポート事業以外で実施した場合も含む）

No.	都道府県	令和5年度	令和4年度
1	北海道	○	○
2	青森県	-	-
3	岩手県	○	○
4	宮城県	○	○
5	秋田県	-	-
6	山形県	○	○
7	福島県	○	○
8	茨城県	○	○
9	栃木県	○	○
10	群馬県	○	○
11	埼玉県	-	-
12	千葉県	○	○
13	東京都	○	○
14	神奈川県	○	○
15	新潟県	-	○
16	富山県	○	○
17	石川県	○	○
18	福井県	○	○
19	山梨県	○	○
20	長野県	○	-
21	岐阜県	-	-
22	静岡県	-	-
23	愛知県	○	○
24	三重県	○	○
25	滋賀県	○	○
26	京都府	-	○
27	大阪府	○	○
28	兵庫県	○	○
29	奈良県	○	○
30	和歌山県	○	○
31	鳥取県	-	-
32	島根県	-	-
33	岡山県	○	○
34	広島県	○	○
35	山口県	○	○
36	徳島県	-	-
37	香川県	○	○
38	愛媛県	○	○
39	高知県	-	-
40	福岡県	○	○
41	佐賀県	○	○
42	長崎県	○	○
43	熊本県	○	○
44	大分県	○	○
45	宮崎県	-	-
46	鹿児島県	-	-
47	沖縄県	-	○
開催合計		33	35

1.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況

○セミナーを開催する目的・ねらい

○セミナーを開催する目的・ねらいについては、「糖尿病性腎症重症化予防の知識習得」が最も多かった。

その他の内容

○県の健康課題である脳卒中对策と併せて糖尿病性腎症重症化予防を効率的に推進するために、その方策について理解を深める。

○CKD（慢性腎臓病）に対する知識の習得。 他

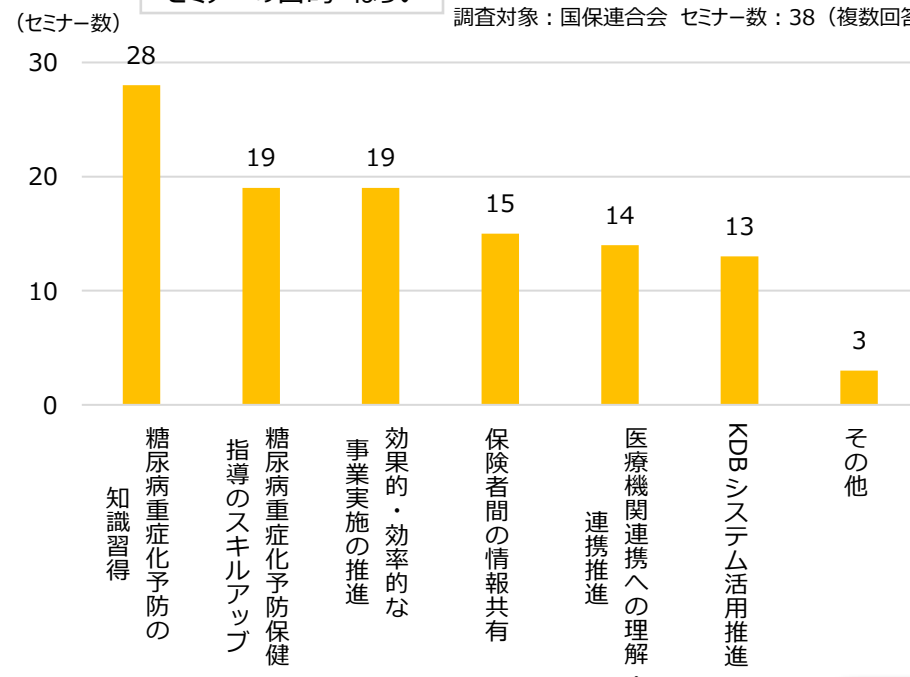
○セミナーの開催方法

○セミナーの開催方法は、「対面・Webの組合せ」が最も多く、次に「対面開催」が多かった。

○令和4年度と比較すると、「Web開催」が大幅に減少していた。

セミナーの目的・ねらい

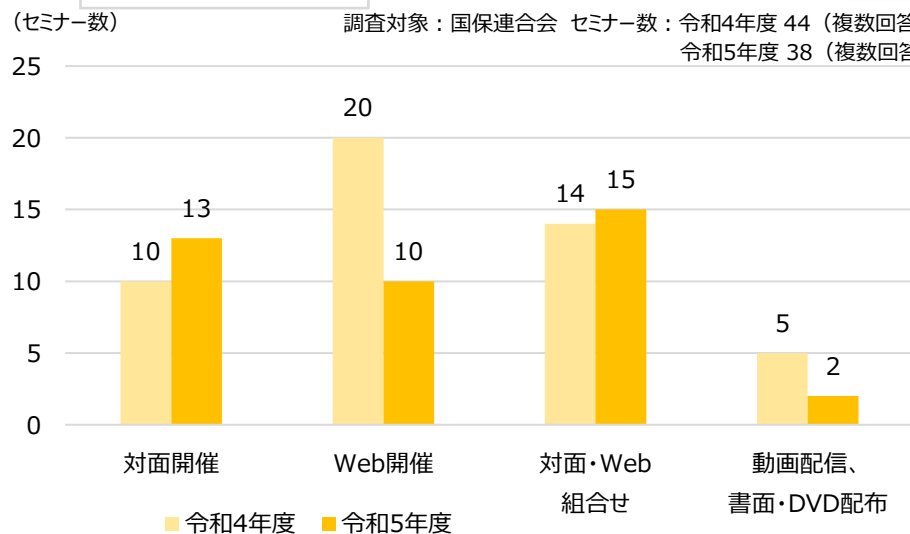
調査対象：国保連合会 セミナー数：38（複数回答）



経年比較

セミナーの開催方法

調査対象：国保連合会 セミナー数：令和4年度 44（複数回答）
令和5年度 38（複数回答）



1.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況

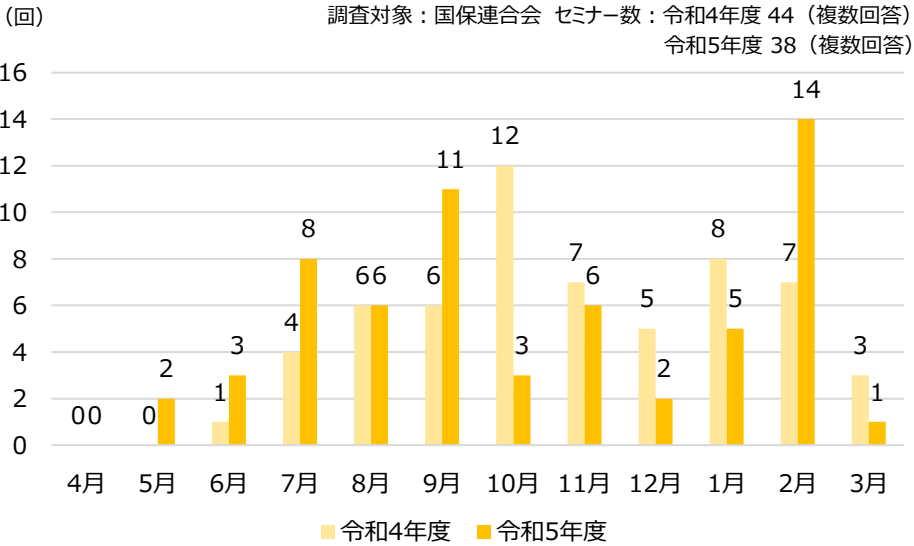
○セミナーの開催月

- セミナーを開催した月※1は、2月が最も多く、次に9月であった。
- 令和4年度と比較すると、10月が減少し、9月、2月が増加していた。

※1 同内容のセミナーを複数回開催している場合は、各回それぞれの開催した月でカウントし、長期間の動画配信等の場合は、初回配信月で1カウントし集計している。

セミナーの開催月別の開催回数

経年比較



セミナーの目的・ねらいと開催月ごとの開催回数

(回)

- セミナー開催月ごとに開催する目的・ねらいを集計※2すると、「糖尿病性腎症重症化予防の知識習得」及び「糖尿病性腎症重症化予防の保健指導のスキルアップ」は4月、3月を除いて満遍なく開催されていた。

※2 同内容のセミナーを複数回開催及び1回のセミナーで2つ以上の内容を含んでいるセミナーがあるため、P.6と上段の「開催回数」とは一致しない。

セミナー開催月	重症化予防の知識の習得	重症化予防の保健指導のスキルアップ	効果的・効率的な事業実施の推進	保険者間の情報共有	医療機関との連携への理解・連携推進	KDB活用推進
5月	1	1	2			1
6月	3	3	2	2	2	2
7月	8	8	8		7	
8月	6	3	5	3	2	2
9月	8	4	3	2	2	8
10月	2	1	2			1
11月	6	3	1	2	3	
12月	2	2		1	1	
1月	4	3	1	2	2	
2月	6	5	8	4	7	7
3月				1	1	
合計	46	33	32	17	27	21

2.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの参加状況

○セミナー参加保険者数 (都道府県別)

○参加保険者数（参加有無）
については、必須回答（濃い
黄欄）とし、参加人数について
は任意回答とした。（Web開
催等で具体的な人数の把握が
難しいため）

○セミナー数は減少していたが、同
一県が複数回セミナーを開催す
る傾向が強まり、結果として開
催回数は増加していた。

No.	都道府県	セミナー数	開催回数 ※1	市町村						②参加人数 合計	都道府県				広域連合		国保組合		⑨その他 参加人数	参加保険者 合計 ①+③+⑤+⑦	参加人数 合計 ②+④+⑥+⑧+⑨
				①参加市町村数	参加人数内訳						③参加	うち、保健 所参加	④参加人数	うち、保健 所参加人数	⑤参加	⑥参加人数	⑦参加 国保組合数	⑧参加人数			
					国保部門	衛生部門	介護部門	後期高齢者部門	その他 ※2												
1	北海道	1	1	179	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	4	-	-	185	-	
2	青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	岩手県	1	1	30	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	3	1	1	-	33	4	
4	宮城県	1	2	31	69	-	-	-	69	1	1	16	12	-	-	1	1	-	33	86	
5	秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	山形県	1	1	33	6	57	-	-	63	1	1	13	10	-	-	-	-	-	34	76	
7	福島県	1	1	25	5	36	-	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	41	
8	茨城県	1	4	33	23	33	2	-	58	1	-	-	-	1	1	-	-	-	35	59	
9	栃木県	1	1	14	11	11	-	-	22	1	-	1	-	1	2	-	-	5	21	30	
10	群馬県	1	1	14	5	6	-	2	14	1	-	2	-	-	-	-	-	-	15	16	
11	埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	千葉県	1	1	51	28	61	-	5	94	1	-	1	-	-	-	-	-	-	52	95	
13	東京都	1	1	37	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	15	-	-	54	-	
14	神奈川県	1	1	5	4	7	-	-	11	1	1	10	5	1	2	-	-	-	7	23	
15	新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16	富山県	1	1	9	12	15	-	-	29	1	1	9	6	1	2	-	-	-	11	40	
17	石川県	1	5	18	-	222	-	-	222	1	1	12	5	-	-	-	-	-	19	234	
18	福井県	2	3	30	5	60	-	-	65	1	1	6	3	1	2	6	3	-	38	76	
19	山梨県	1	5	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	27	-	
20	長野県	1	1	66	15	175	1	3	194	1	1	25	20	1	2	1	3	-	69	224	
21	岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
22	静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
23	愛知県	1	2	42	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	44	-	
24	三重県	1	1	27	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	30	-	
25	滋賀県	1	1	17	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	19	-	
26	京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
27	大阪府	1	1	38	31	8	-	-	7	46	1	-	1	-	1	2	5	5	45	54	
28	兵庫県	1	1	23	12	18	1	2	4	37	1	1	2	1	1	2	2	-	27	43	
29	奈良県	1	9	13	4	12	-	-	-	16	1	1	4	3	-	-	-	-	14	20	
30	和歌山県	1	1	19	-	-	-	-	32	32	1	-	-	-	1	-	-	-	21	32	
31	鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
32	島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
33	岡山県	2	3	39	21	77	-	-	-	98	2	2	17	12	-	-	-	-	41	115	
34	広島県	1	1	23	-	36	-	-	-	36	1	-	6	-	1	1	-	-	25	43	
35	山口県	1	1	14	11	11	-	2	-	24	1	-	3	2	1	3	-	-	18	32	
36	徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
37	香川県	1	1	9	2	10	-	-	-	12	1	1	6	4	-	-	1	1	19	30	38
38	愛媛県	1	1	18	17	22	2	-	1	42	1	1	5	3	1	2	-	-	21	50	
39	高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40	福岡県	1	1	51	19	122	2	-	25	168	1	1	12	12	1	1	-	-	53	181	
41	佐賀県	4	4	80	37	483	34	14	-	568	4	-	4	-	3	3	2	2	89	577	
42	長崎県	1	1	20	50	49	-	-	-	99	1	1	12	10	1	2	1	1	37	128	
43	熊本県	1	1	40	17	112	1	-	7	137	1	1	6	5	-	-	-	-	41	143	
44	大分県	1	1	15	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	2	-	-	17	4	
45	宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
46	鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
47	沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計		38	61	1,089	404	1,643	43	28	79	2,197	35	19	175	113	25	32	40	19	41	1,230	2,464
令和4年度合計		44	59	966	672	1,754	54	63	332	2,875	※3	-	231	144	-	66	-	62	107	-	3,341

※1 複数回セミナーを開催している都道府県の
参加保険者・人数は延べ数。

※2 Web開催等で所属部署が不明の場合は、
「その他」に集約して記載している場合がある。

※3 令和4年度の「-」については、未調査。

2.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの参加状況

○セミナーの保険者別参加人数

○市町村の部門別参加人数は、「衛生部門」が最も多く、次に「国保部門」であった。

○「その他」の部門は、「保健福祉課」、「健康政策課」等であった。

★本項目は、任意回答で調査したもの。

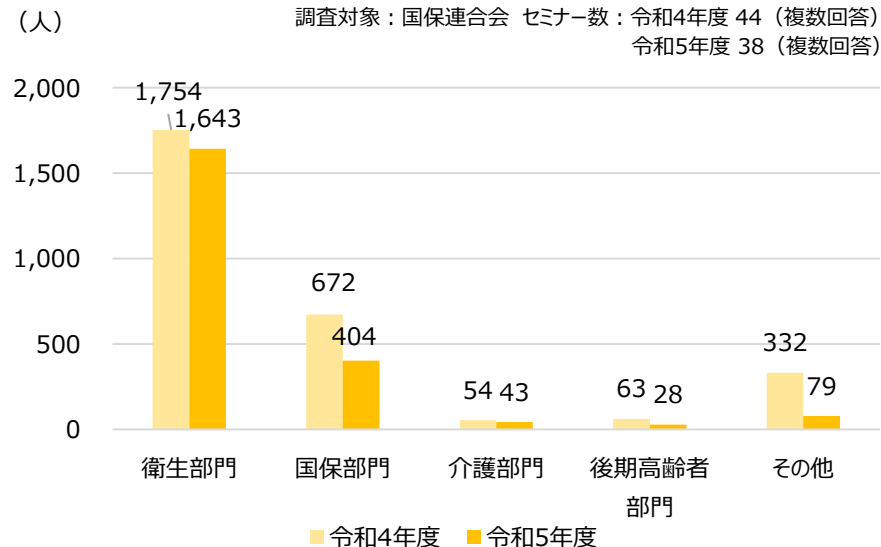
○市町村以外の保険者別参加人数は、「都道府県」が最も多く、次に「その他」であった。

○「その他」は、「保険者協議会」、「全国健康保険協会支部」、「共済組合」、「歯科衛生士会」、「医療機関」等であった。

★本項目は、任意回答で調査したもの。

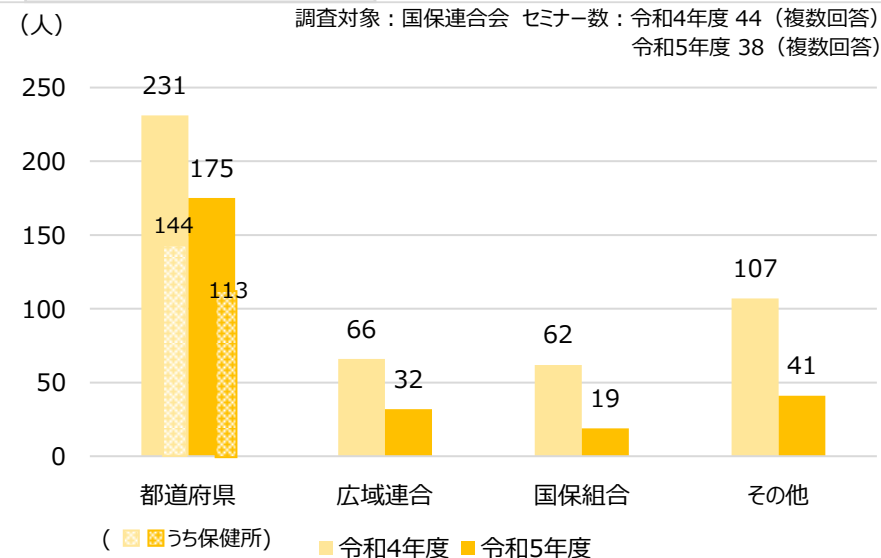
参加人数（市町村）

経年比較



参加人数（市町村以外）

経年比較

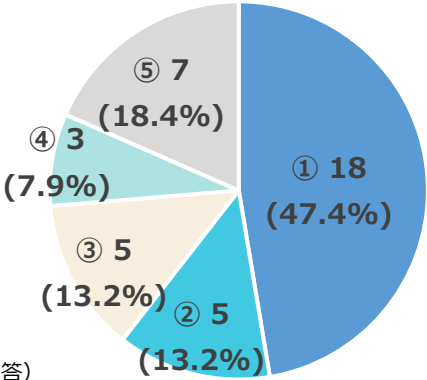


3.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの実施状況

○セミナーの主催者・共催者

- セミナー主催者、共催者の組合せを集計すると、「国保連合会」の単独開催が最も多く(47.4%)、次に「国保連合会」と「都道府県」の組合せが多かった。
- 令和4年度とほぼ同傾向であった。

令和5年度

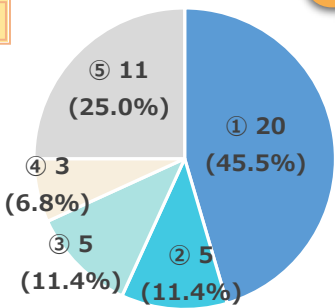


調査対象：国保連合会 セミナー数：38（複数回答）

	主催者	共催者	セミナー数	割合
①	国保連合会	なし	18	47.4%
②	国保連合会	都道府県	5	13.2%
③	国保連合会、都道府県	なし	5	13.2%
④	都道府県	国保連合会	3	7.9%
⑤	その他		7	18.4%
	合計		38	100.0%

その他	主催者	共催者	セミナー数	主催者	共催者	セミナー数
	都道府県、その他（大学）	国保連合会	2	その他（支援・評価委員会）	国保連合会	1
	都道府県、保険者協議会	国保連合会	1	なし	国保連合会、都道府県	1
	都道府県、その他（県医師会）	国保連合会、保険者協議会	1	なし	国保連合会、保険者協議会	1

令和4年度



調査対象：国保連合会 セミナー数：44（複数回答）

	主催者	共催者	セミナー数	割合
①	国保連合会	なし	20	45.5%
②	国保連合会	都道府県	5	11.4%
③	都道府県	国保連合会	5	11.4%
④	国保連合会、都道府県	なし	3	6.8%
⑤	その他		11	25.0%
	合計		44	100.0%

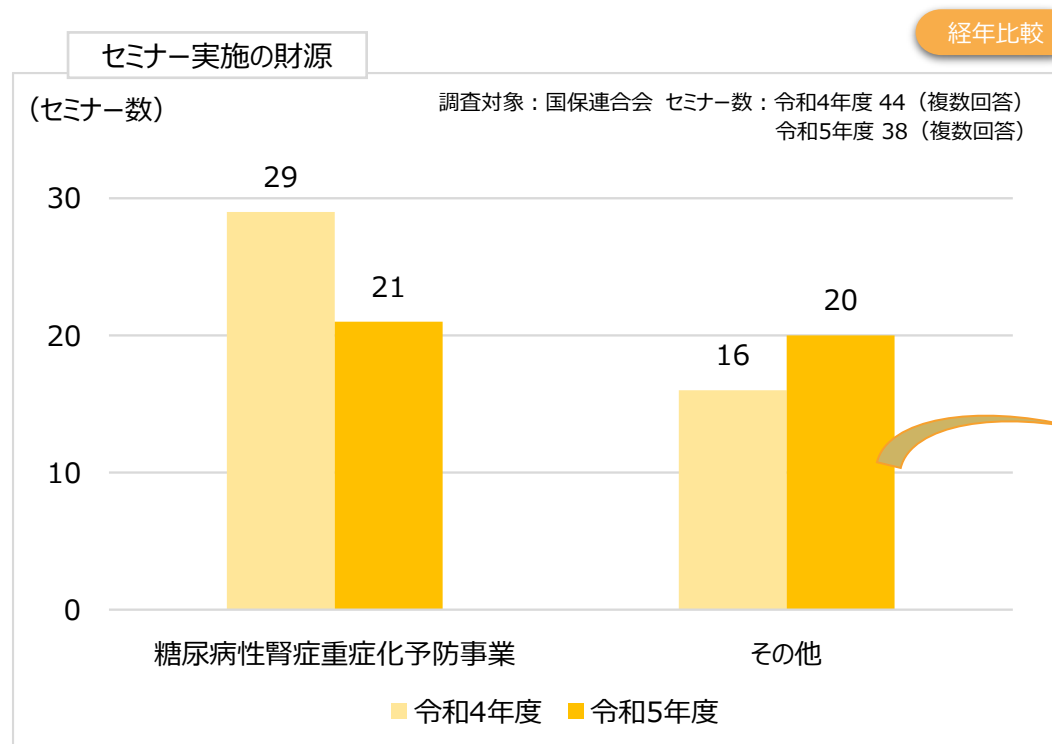
経年比較

3.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの実施状況

○セミナー実施の財源

○**セミナー実施の財源**については、「糖尿病性腎症重症化予防事業」と「その他」がほぼ同数であった。「その他」では、「県が負担」とする回答が多かった。

○令和4年度と比較すると、「糖尿病性腎症重症化予防事業」が減少していた。



うち、両方を選択しているセミナー数

令和4年度 令和5年度

2 3

その他の財源

○県が負担

○糖尿病性腎症重症化予防事業に関する補助金が3/5となったため、一般会計（市町村負担金）も併用

○国保・後期高齢者ヘルスサポート事業

他

3.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの実施状況

○セミナー講師の選定状況（所属別）

○セミナーの講師の所属先については、「医療機関」が最も多く、次に「国保連合会」であった。

○令和4年度と比較すると、「国保連合会」が減少していた。

その他に分類された所属	令和5	令和4
○保健活動を考える自主的研究会	2	2
○生活習慣病予防研究センター	2	1
他		

No.	都道府県	厚生労働省	国保連合会	都道府県	市町村	大学	医療機関	その他
1	北海道	-	○	-	-	-	-	-
2	青森県	-	-	-	-	-	-	-
3	岩手県	-	-	-	○	○	-	-
4	宮城県	-	-	-	-	-	○	-
5	秋田県	-	-	-	-	-	-	-
6	山形県	-	○	○	○	-	○	-
7	福島県	-	-	-	-	○	-	-
8	茨城県	-	○	○	-	-	-	-
9	栃木県	-	-	-	-	-	○	-
10	群馬県	-	-	-	-	○	-	-
11	埼玉県	-	-	-	-	-	-	-
12	千葉県	-	○	-	-	○	-	-
13	東京都	-	-	○	-	-	-	-
14	神奈川県	-	○	○	○	-	-	-
15	新潟県	-	-	-	-	-	-	-
16	富山県	-	-	-	○	-	○	-
17	石川県	-	-	-	-	-	-	○
18	福井県	-	-	○	-	-	○	○
19	山梨県	-	○	○	-	-	-	-
20	長野県	-	-	-	-	-	○	-
21	岐阜県	-	-	-	-	-	-	-
22	静岡県	-	-	-	-	-	-	-
23	愛知県	-	-	-	-	-	○	○
24	三重県	-	-	-	-	-	○	-
25	滋賀県	-	-	-	-	-	○	-
26	京都府	-	-	-	-	-	-	-
27	大阪府	-	○	○	○	○	-	-
28	兵庫県	-	○	○	-	-	-	○
29	奈良県	-	-	-	-	○	○	○
30	和歌山県	-	○	-	-	-	-	-
31	鳥取県	-	-	-	-	-	-	-
32	島根県	-	-	-	-	-	-	-
33	岡山県	-	○	-	-	○	○	-
34	広島県	-	-	-	-	-	-	-
35	山口県	-	-	-	-	-	○	-
36	徳島県	-	-	-	-	-	-	-
37	香川県	-	-	-	-	-	○	○
38	愛媛県	○	○	-	○	-	-	-
39	高知県	-	-	-	-	-	-	-
40	福岡県	-	-	○	-	-	○	-
41	佐賀県	-	-	-	-	-	○	○
42	長崎県	-	-	○	-	-	○	-
43	熊本県	-	-	-	-	○	-	-
44	大分県	-	-	-	-	-	-	-
45	宮崎県	-	-	-	-	-	-	-
46	鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-
47	沖縄県	-	-	-	-	-	-	-
合計		1	11	10	6	8	16	7
令和4年度合計		1	18	11	7	11	17	6

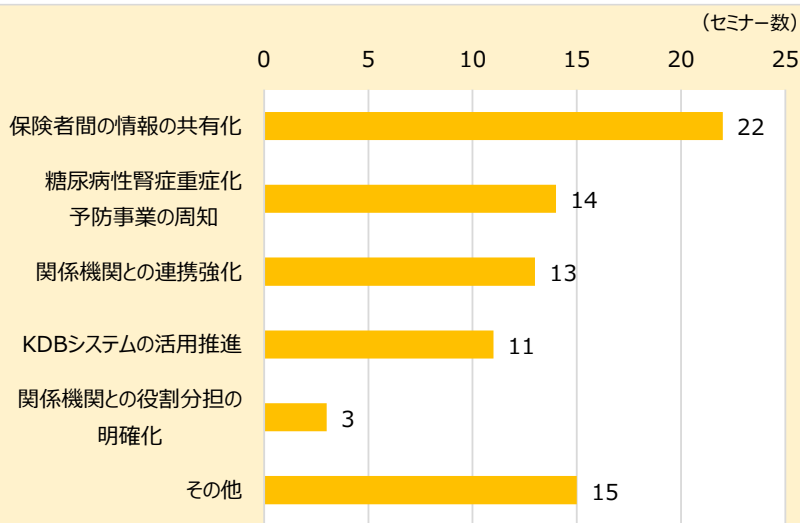
4.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの振り返り ～国保連合会がセミナーを実施して良かった点～

○国保連合会がセミナーを実施して良かった点

国保連合会が



セミナーを実施して良かった点



調査対象：国保連合会
セミナー数：38（複数回答）



まとめ

自由記述の良かった点の内容を見ると、保健指導の方法に関するものが10件で最も多く、指導対象者との現場での接し方や受診勧奨に関する効果的な指導方法に関する内容がみられる。次いで、医学的専門知識に関するものが多く、糖尿病性腎症に関する専門的な知識の提供が評価されていることが分かる。

セミナーを実施して良かった点の具体的な内容

自由記述形式の具体的な良かった点を見ると以下のようなものがあった。

◆保健指導の具体的な方法（10件）

- ・ 専門分野の講師による具体的な保健指導ポイント
- ・ 治療や保健指導のポイント
- ・ 保健指導における接し方の重要性、困難事例へのかかわり等
- ・ タイプ別の保健指導等の流れ
- ・ 知識・技術の習得を目的とした関係者の人材育成
- ・ 住民とのやりとりを通じた保健指導教材の活用
- ・ 栄養指導マニュアルの内容改訂
- ・ フォローが必要な対象者とそのフォロー方法、2次検診の効果等 他2件

◆医学的専門知識の習得（9件）

- ・ 病態等を中心とした知識取得
- ・ 腎機能の変化の視点、作用機序、慢性腎臓病の取り組みの重要性等
- ・ 病態生理から看護、運動療法、食事療法等様々な内容
- ・ 糖尿病の専門医による保険者の課題へのアドバイス
- ・ 糖尿病専門医より、病態生理の基礎知識
- ・ 糖尿病性腎症重症化予防に向けた糖代謝の理解
- ・ 検査内容・検査測定値の考え方
- ・ 腎専門医がどのように診断し、治療方針を考えているか 他1件

◆糖尿病性腎症重症化予防プログラムの理解（4件）

- ・ 都道府県版プログラムの紹介 2件
- ・ プログラムの全般的説明
- ・ プログラムの改訂内容

◆都道府県全体の取組（3件）

- ・ データの蓄積による経年での評価結果の共有 2件
- ・ 最新の情勢や統計データからみた県の現状把握

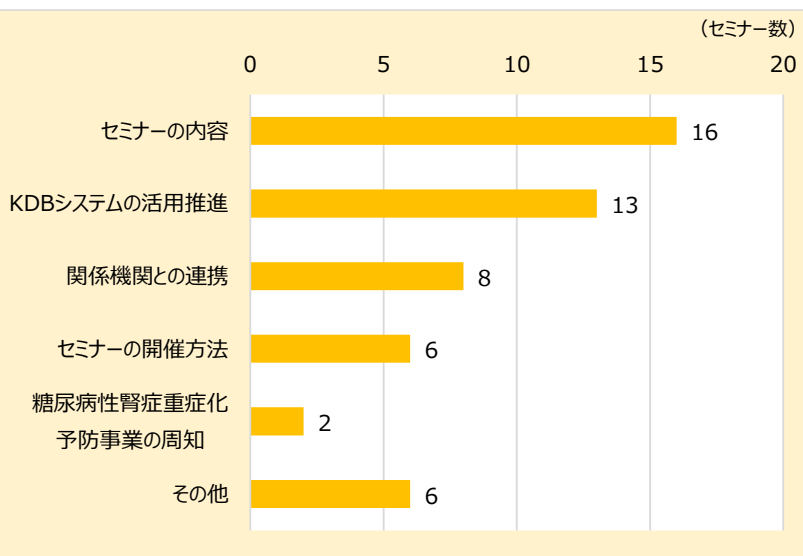
4.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの振り返り ～国保連合会にとっての課題～

○国保連合会にとっての課題

糖尿病性腎症重症化
予防セミナーについての



国保連合会にとっての課題



調査対象：国保連合会
セミナー数：38（複数回答）

国保連合会にとっての課題の具体的内容

自由記述形式の課題を見ると、以下のようなものがあった。

◆保険者や担当者の状況に合わせた研修実施（9件）

- ・市町国保、健保組合・共済組合間の取組状況の差があり、それぞれの課題が異なっており、研修に求めるニーズに違いがある。
- ・担当者のレベルが異なるため、研修会の内容設定が難しい。他7件

◆時間配分・スケジュール調整（5件）

- ・医師会やかかりつけ医の先生に出席していただいているので、時間が限られてしまい国保連合会が説明する時間が少ない。
- ・開催に向け早くから準備を進めたが日程調整や会場確保に難航した。他3件

◆リモート会議の活用・運用（4件）

- ・参集及びWeb開催のハイブリット開催としたことで、Web上での音声調整などの運営に手間取るところがあった。他3件

◆実機を利用した研修実施（3件）

- ・情報提供のみでは、KDBシステムの活用推進につなげることは難しいため、実機研修や個別の対応等に発展して保険者支援につなげる必要がある。他2件

◆具体的システム機能（2件）

- ・中央会ツールを活用して抽出する「CKD対象者一覧（KDBを活用した糖尿病性腎症対象者の概数把握）」の（現在治療中断）等の対象者に訪問等をして、中断者に該当しない人が多い。
- ・KDBデータの活用（努力支援制度に対応し、現場に即した効果的な対象者の絞り込み）



まとめ

自由記述の国保連合会の課題を見ると、保険者や担当者の状況に合わせた研修が難しいとする意見が9件で最も多く、保険者間、担当者間の知識や経験の差が大きく、それに合わせた研修が難しくなっていることがうかがえる。次いで、研修の時間配分や、スケジュール調整など運営面の課題があげられている。

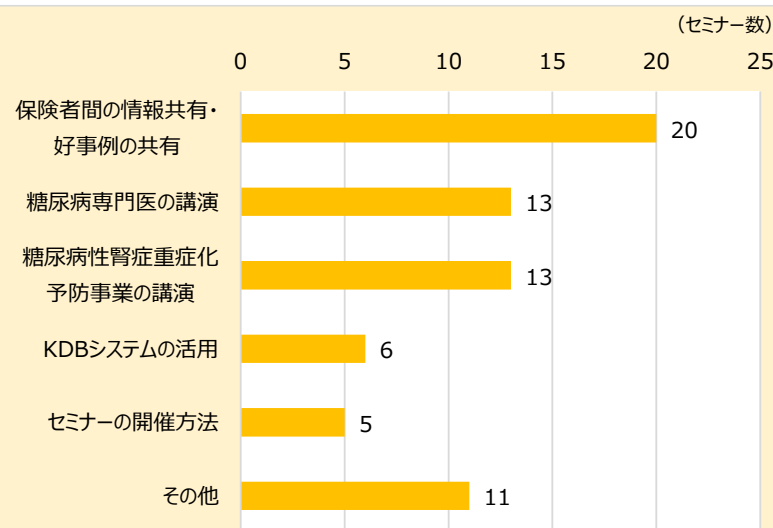
4.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの振り返り ～セミナーに参加した保険者からのセミナーに対する感想・良かった点～

○保険者からのセミナーに対する感想 ・良かった点

保険者へのアンケート調査から



セミナーに対する感想・良かった点



調査対象：国保連合会
セミナー数：38（複数回答）

セミナーに対する感想・良かった点の具体的内容

自由記述形式の具体的によかった点を見ると以下のようなものがあった。

◆保健指導方法（13件）

- ・ 受診勧奨に力を入れる事の意義
- ・ 保健指導で対象者と話をする時の参考
- ・ 介入すべき対象者を明確にすることができた
- ・ 指導方法を振り返る良い機会となった
- ・ 案内文書の通知へのコメント内容
- ・ 健診結果を見るポイント、評価の仕方、保健師のアプローチの重要性
- ・ 効率的な受診勧奨・保健指導
- ・ 経年変化の追跡結果から受診勧奨する効果
- ・ 治療中断者へのアプローチ
- ・ 必要な方には何回も保健指導を行うことの大切さ
- ・ 教材を用いた声掛けの仕方
- ・ 個々の患者背景も引き出せるような信頼関係作り
- ・ 2次検査の対象者や活用法

◆医学的専門知識（9件）

- ・ 糖尿病の重症化予防は血圧をキーにして考えること、高血圧予防・減塩も、腎症の進行予防に大切
- ・ 尿タンパクが若い人の方が出やすく、将来的にも透析になりやすいこと
- ・ 具体的な薬のお話、腎症の最近の動向
- ・ 専門医からの知見
- ・ 臨床でどのような治療、対応がされているのか
- ・ 透析患者の病気の進行、eGFR、CKDについての理解
- ・ インスリンの働きや糖代謝、脂質代謝
- ・ 医師の視点からの腎機能や検査値、人工透析等の具体的考え方
- ・ 妊娠期や小児の糖尿病予防

◆関係者・医療機関との連携（7件）

- ・ 保健師と事務職で連携すること
- ・ 医師会、腎専門医考え、動向、状況
- ・ 県の病診連携体制
- ・ 関係機関との連携
- ・ 糖尿病専門医の自治体との連携実績
- ・ 医療との連携 他1件

4.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの振り返り ～セミナーに参加した保険者からのセミナーに対する感想・良かった点～

セミナーに対する感想・良かった点の具体的内容（続き）

◆他保険者の事例紹介（6件）

- ・ PDCAサイクルを回して、改善、試行錯誤しながら取組を進めていった状況
- ・ 2次検査をしている町の取り組み
- ・ 「委託」手法についての好事例
- ・ 他県、他市町の事例 他2件

◆KDB活用方法の理解（5件）

- ・ KDB Expander等の活用
- ・ 糖尿病に関連する帳票から市町村の実態を把握できた
- ・ 実機操作研修が効果的だった
- ・ KDBによるデータ分析方法 他1件

◆糖尿病性腎症重症化予防事業の意義の理解（3件）

- ・ 腎臓にも注目することの重要性を理解した
- ・ 糖尿病重症化について細かく学ぶことができた
- ・ 症例紹介から、早期介入の必要性がよく理解できた

◆他保険者との情報交換・共有の場（3件）

- ・ 他市の状況や課題を共有できた
- ・ 他市町村での取り組み、現場での指導状況が具体的にわかった
- ・ プロセス計画について意見交換の場となった

◆その他（9件）

- ・ 最新の特定健診、特別保健指導等の考え方などの説明
- ・ プログラム評価シートの読み取り
- ・ 先生方と事業のお話をする際や事業対象者とお話をする際の大きな力になる
- ・ データヘルス計画策定の具体的なイメージの理解
- ・ 知識編（Web）と実務編（集合・グループワーク）により、基礎知識とで具体的活用が分かった
- ・ ヘルスアップ事業についての理解
- ・ 先生から話を聞くことができ、大変勉強になった 他感想2件



まとめ

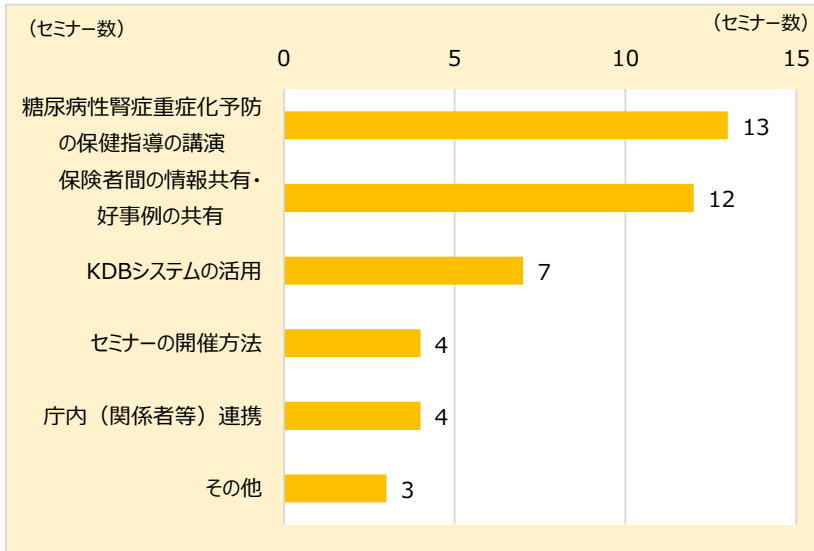
自由記述の感想・良かった点の内容を見ると、保健指導の方法に関するものが13件で最も多く、指導対象者との現場での接し方や受診勧奨に関する内容が多くみられる。次いで、医学的専門知識に関するものが多く、現場で役立つ専門知識の提供が評価されている。これら上位2つは、国保連合会から見ても良かった点と一致している。

4.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの振り返り ～セミナーに参加した保険者からのセミナーに対する要望等～

○保険者からのセミナーに対する要望

保険者へのアンケート調査から

セミナーに対する要望等



調査対象：国保連合会
セミナー数：38（複数回答）

セミナーに対する要望等の具体的内容

自由記述形式の要望を見ると以下のような項目があった。

◆保健指導方法（11件）

- ・ 保健指導の効果的な取り組み
- ・ 住民への情報提供の方法
- ・ 保健指導のスキルアップに繋がる講話や事例検討（演習）
- ・ データの読み取りや介入方法
- ・ 面談や指導の際の効果的伝え方
- ・ 早期発見・早期受診しアルブミン尿を計測する必要性を理解していただける方法
- ・ HbA1cが高値の未治療者に対する医療機関受診につなげる指導方法
- ・ 対象者へ受診勧奨・保健指導のスキル向上
- ・ 保健指導教材の活用方法
- ・ 減量に対して効果的な保健指導の方法
- ・ 精神科受診の方の重症化予防についてのかかわり方（特に肥満のある方）

◆他保険者の事例紹介（9件）

- ・ 他市町村の取り組み事例 5件
- ・ 腎症の栄養・食事指導の事例発表
- ・ 具体的にどのように事業を進めていく取組事例
- ・ 保健指導を直営でされている保険者の実践方法や報告
- ・ 保険者で重症化防止に取り組んでいる事例

◆KDB活用方法の理解（8件）

- ・ 健診データを経年的に評価する方法
- ・ 医療費分析を委託しないも現状把握ができるマニュアル
- ・ システムの更なる活用方法
- ・ 他市町村でのKDBデータの活用状況
- ・ KDB利活用の説明
- ・ 血圧や脂質に関する薬価コードや薬効分類、それらの抽出条件
- ・ データヘルス計画の標準化アウトカムが見れる抽出条件
- ・ システム改修等含め、定期的な研修

4.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの振り返り ～セミナーに参加した保険者からのセミナーに対する要望等～

セミナーに対する要望等の具体的内容（続き）

◆関係者・医療機関との連携（6件）
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関との連携等の実情・ 医師が保健指導で期待していること・ 医師との連携について、円滑に行っている保険者の事例・ 後期高齢者医療広域連合との連携・ 国保連と医師会へのつながりを生かした働きかけ・ 保険者・県市の医師会・医療機関等の協力・連携を行う上で、定期的な情報交換の場が必要
◆他保険者との情報交換・共有の場（4件）
<ul style="list-style-type: none">・ グループワークで話す時間を十分とる・ 対面での他市町とのグループワークによる情報交換・ グループワークを行うことで普段は聞けないようなことが聞けて参考になる 他1件
◆データ分析結果の提供（2件）
<ul style="list-style-type: none">・ 疾患の医療費、住民健診のデータ傾向、他市町村比較・ 受診勧奨・医療受診率における、市町村ごとや、他市町村及び県との比較結果
◆研修の方法等（2件）
<ul style="list-style-type: none">・ 対面と合わせウェブ参加も継続してほしい・ 講師が実際に事例の読み取りを行いながら行う事例検討
◆医学的専門知識（1件）
<ul style="list-style-type: none">・ CKD対策、アルブミン尿について
◆その他（9件）
<ul style="list-style-type: none">・ 患者当事者の話を聞けると、専門職でない方も実感しやすい・ 腎機能還元プロジェクトの動向、効果・ 「助言希望事項に関連する通知物」について・ 保健師等専門職に限定した実践研修（事務職向けと分けるということか）・ 透析患者家族の負担感、患者の負担、リアルな声・ 事例検討や関わった事例のその後の経過等・ 県の食や生活習慣の課題 他2件



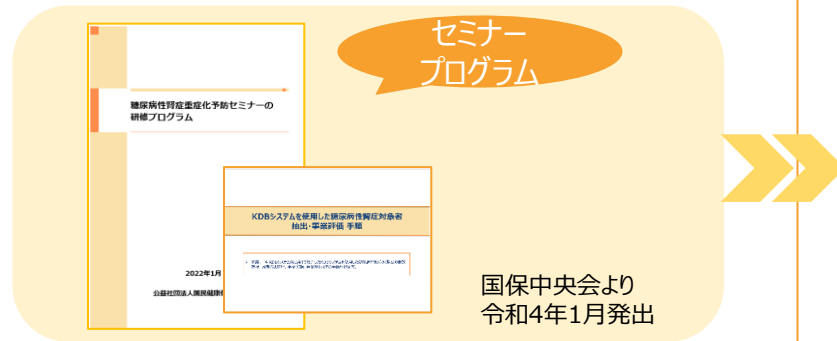
まとめ

自由記述の要望内容を見ると、良かった点と同様に保健指導の方法に関するものが11件で最も多く、指導対象者との現場での接し方や指導に関する内容が多くみられる。次いで他保険者の事例紹介の要望が多く、一般的な事例の要望のほか栄養・食事指導に絞った事例を望む声があった。

5.糖尿病性腎症重症化予防セミナーへの「セミナープログラム」の活用状況

○「セミナープログラム」の活用状況

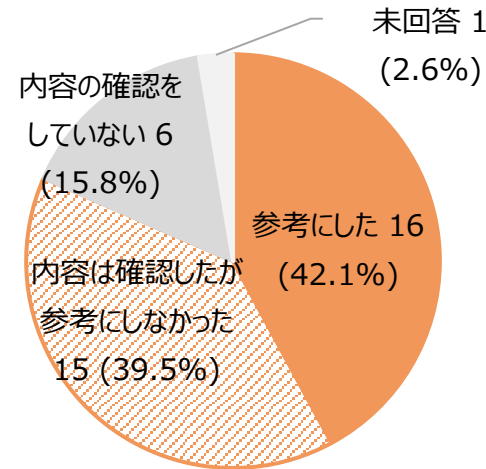
○セミナー実施での「セミナープログラム」の活用状況※については、「参考にした」と回答したセミナーは全体の約4割であった。



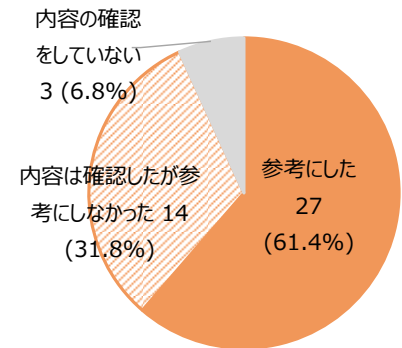
※ セミナー内容によって「参考にした」、「参考にしなかった」と分かれた回答があったため、セミナーごとで集計している。

○参考にした内容については、「研修を企画する前に担当者がおさえるべきポイント」が最も多かった。

令和5年度

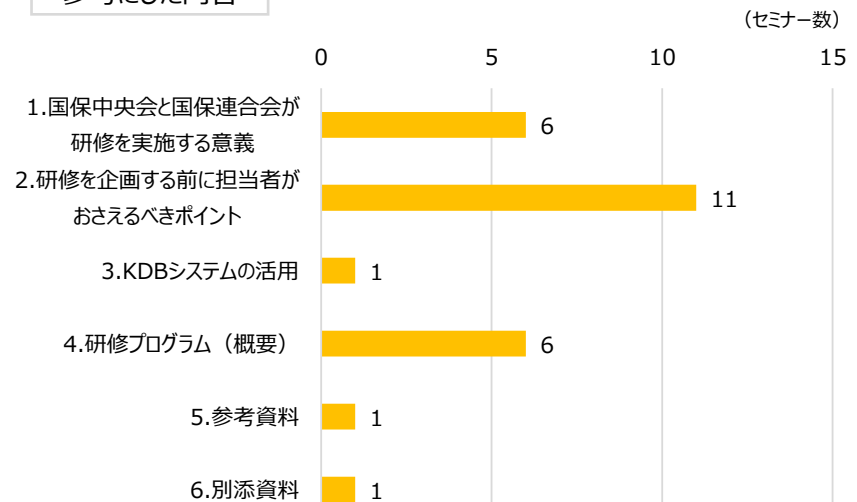


令和4年度



調査対象：国保連合会
セミナー数：令和4年度 44
令和5年度 38

参考にした内容



調査対象：国保連合会 セミナー数：16（複数回答）

5.糖尿病性腎症重症化予防セミナーへの「セミナープログラム」の活用状況

○「セミナープログラム」を参考にした具体的内容

○前頁の「参考にした内容」について、**参考にした具体的内容**は、「糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組む保険者の課題」（セミナープログラムP.11）を参考にしたという意見が複数みられた。

○「セミナープログラム」を参考にしなかった理由

○前頁の「内容は確認したが、参考にしなかった」と回答した15セミナーについて、**参考にしなかった理由**は、「県等が主催のため」という理由が多かった。

参考にした具体的内容

- 国の方向性、重症化予防事業の基本的な進め方。
- 「糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組む保険者の課題」のページを参考に県内保険者の課題と照らし合わせテーマ選定を行った。
- プログラム構成を考える際、参考とした。
- 研修会を企画する上で、改めて押さえるべきポイントを確認した。 他

参考にしなかった理由

- 県がセミナーの主催者であり、研修会の準備及び保険者間の情報共有などのグループワークの支援を行ったため。
- 今年度は第3期データヘルス計画の策定支援に重きを置いていたため。
- 今年度の研修計画については、県と連携して協議を行い、実施内容や方法等については方向性が決まっていたため。 他

6.「糖尿病性腎症重症化予防セミナーの研修プログラム」

○「セミナープログラム」についての要望

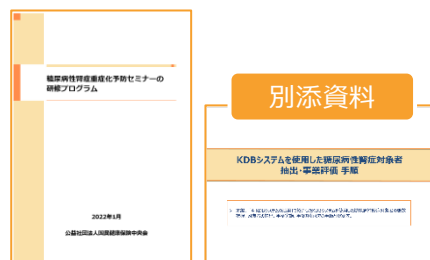
○「糖尿病性腎症重症化予防セミナーの研修プログラム（国保中央会 令和4年1月）」についての要望（追加・見直して欲しい事項）は、以下の通りであった。

○国のプログラムの改定に合わせて改訂してほしい。

○腎硬化症による新規人工透析導入といった話がある中、糖尿病性に限定せず、慢性腎臓病や高血圧などからの腎機能低下などの視点でも事業を取組めるようなように支援していくかといった視点での情報があるとよい。

○別添資料にある「KDBシステムを使用した糖尿病性腎症対象者抽出・事業評価手順」が、何種類ものデータを使用する必要があり、抽出作業に慣れた方でなければ作業が難しい上、時間も要するので、一度でこれらの対象者を抽出できるようなツールがあると大変ありがたい。

○他の都道府県連合会が開催しているセミナー資料（講師資料や連合会が作成したデータ等）の共有などをお願いしたい。



Ⅲ 令和5年度の調査結果まとめ

令和5年度 糖尿病性腎症重症化予防セミナー実施調査結果のまとめ



開催状況

- 糖尿病性腎症重症化予防セミナーを開催した国保連合会は33連合会で、令和4年度（35連合会）と比較して2連合会減少していた。（P.5）
- セミナーの開催方法は、令和4年度において主軸であったWeb開催が大幅に減少し、対面・Web開催の組合せ、対面開催が増加していた。コロナ禍が明け、対面開催が増加傾向であった。（P.6）

実施内容

- セミナーの主催者・共催者の組合せについては、国保連合会の単独開催が最も多く、令和4年度とほぼ同傾向であった。（P.10）
- セミナー講師の所属別選定状況については、医療機関が最も多く、令和4年度と比較して国保連合会の講師が減少していた。（P.12）

振り返り

- 国保連合会の課題としては、保険者ごとで事業への取組度合いが異なり、保険者間、担当者間での知識や経験の差が大きくなってきていることから、それに合わせた研修が難しくなっている。また、研修の時間配分や、スケジュール調整など運営面の課題もあげられていた。（P.14）
- セミナーを受講した保険者の要望では、保健指導の方法に関するものが最も多く、指導対象者との現場での接し方や指導に関する内容が多くあった。また、他保険者の事例紹介の要望や一般的な事例の要望のほか、栄養・食事指導に絞った事例を望む声もあった。（P.17、18）

セミナープログラム活用状況

- 回答された全てのセミナーのうち、本会の「糖尿病性腎症重症化予防セミナーの研修プログラム」を活用して実施されたのは約4割であった。中でも、「糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組む保険者の課題」のページを参考としたものが多かった。（P.19、20）



IV 令和元年度～令和5年度 5年間の調査結果集計報告

1.令和元年度～令和5年度 5年間の調査結果まとめ

◆5年間の調査結果集計報告の概要

令和元年度より始まった「糖尿病性腎症重症化予防セミナーの実施状況調査」は、令和5年度の調査で5年が経過した。この資料は、糖尿病性腎症重症化予防セミナーの状況について、5年間の状況及び経年での変化を分析することで、傾向や課題・問題点等を把握し、今後の国保中央会・国保連合会における保険者支援に役立てることを目的としている。

◆5年間の集計概要・留意事項

- 令和元年度～令和5年度の各都道府県の国保連合会から回答された「糖尿病性腎症重症化予防セミナーの実施状況調査」の集計結果をまとめたもの。
- 調査項目が年度ごとで相違している部分があるため、5年分のデータがない場合や集計していない項目がある。
- 調査時期は例年年度末の3月に実施しているが、令和元年度のみ初年度のため12月に実施している。
- 年度で設問の条件が異なっている場合は、下段の※印にて具体的な内容を明記している。

◆年度別回収状況

調査対象	国保連合会
調査対象数	47

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回収数	47	47	47	47	47
回収（％）	100	100	100	100	100

2.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況（経年比較）

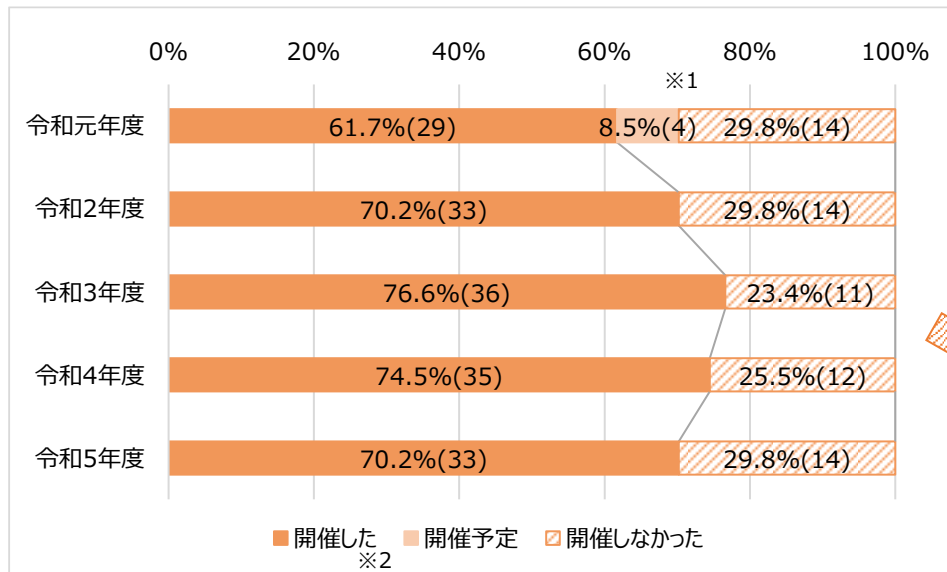
○糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況（経年比較）

○年度別のセミナー開催状況は、7割程で推移しており、5年間ほぼ同程度であった。

○**開催していない理由**は、「県が開催している」が毎年あがっていた。

年度別のセミナー開催状況

調査対象：国保連合会 回答数：47



【国の動向】

- 平成28年度
「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」
策定（平成31、令和3、令和6年度改訂）
- 平成30年度
「糖尿病性腎症重症化予防 事業実施
の手引き」作成（令和3、令和6年度改訂）

【国保中央会】

- 令和元年度
国の動向を踏まえ、「糖尿病性腎症重症化
予防セミナーの研修プログラム」作成
（令和3年度改訂）

未開催の理由

未開催 の理由	主催・共催 ではないが 関わっている	県等が開催	コロナ禍 のため	別の研修会で まとめて実施	その他	未回答
令和元年度	-	10	-	3	1	-
令和2年度	-	7	6	-	1	-
令和3年度	-	6	1	-	1	3
令和4年度	3	4	-	1	2	2
令和5年度	5	4	-	2	-	3

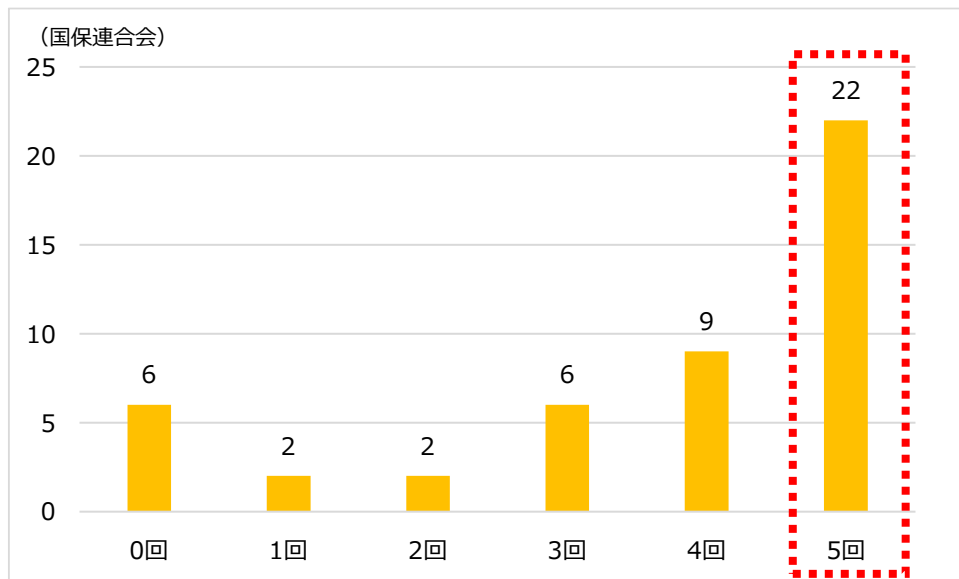
2.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況（経年比較）

○都道府県別セミナーの開催状況（経年比較）

○都道府県別の開催状況をみると、毎年開催している国保連合会は22連合会あった。一方で、一度も開催していない連合会は、6連合会あった。

○過去に開催していた都道府県がその後開催をしていないケースもあり、その理由としては「県等が研修を開催しているため」が多かった。

5年間のセミナーの開催数※3



調査対象：国保連合会 回答数：47

※1 ○は開催、△は開催予定。

※2 開催予定は、開催とカウントして集計。（開催合計の（ ）は開催予定を含めない連合会数）

※3 年度別で開催を1回とカウントし、5年間で開催している回数を合計したもの。

No.	都道府県	令和元年度※1	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	毎年開催	一度も開催なし
1	北海道	○	○	○	○	○	○	-
2	青森県	-	○	○	-	-	-	-
3	岩手県	-	○	-	○	○	-	-
4	宮城県	△	○	○	○	○	○	-
5	秋田県	○	○	-	-	-	-	-
6	山形県	-	○	○	○	○	-	-
7	福島県	○	-	-	○	○	-	-
8	茨城県	-	-	○	○	○	-	-
9	栃木県	○	○	○	○	○	○	-
10	群馬県	○	○	○	○	○	○	-
11	埼玉県	-	-	-	-	-	-	○
12	千葉県	○	○	○	○	○	○	-
13	東京都	○	○	○	○	○	○	-
14	神奈川県	△	○	○	○	○	○	-
15	新潟県	○	-	○	○	-	-	-
16	富山県	○	○	○	○	○	○	-
17	石川県	○	○	○	○	○	○	-
18	福井県	○	○	○	○	○	○	-
19	山梨県	○	○	○	○	○	○	-
20	長野県	○	○	○	-	○	-	-
21	岐阜県	-	-	-	-	-	-	○
22	静岡県	-	-	-	-	-	-	○
23	愛知県	-	○	○	○	○	-	-
24	三重県	○	○	○	○	○	○	-
25	滋賀県	○	○	○	○	○	○	-
26	京都府	○	○	○	○	-	-	-
27	大阪府	-	○	○	○	○	-	-
28	兵庫県	○	○	○	○	○	○	-
29	奈良県	○	○	○	○	○	○	-
30	和歌山県	○	○	○	○	○	○	-
31	鳥取県	○	-	-	-	-	-	-
32	島根県	○	-	-	-	-	-	-
33	岡山県	○	-	○	○	○	-	-
34	広島県	-	○	○	○	○	-	-
35	山口県	△	-	○	○	○	-	-
36	徳島県	-	-	-	-	-	-	○
37	香川県	○	○	○	○	○	○	-
38	愛媛県	○	○	○	○	○	○	-
39	高知県	-	-	-	-	-	-	○
40	福岡県	○	○	○	○	○	○	-
41	佐賀県	○	○	○	○	○	○	-
42	長崎県	○	○	○	○	○	○	-
43	熊本県	△	○	○	○	○	○	-
44	大分県	-	-	○	○	○	-	-
45	宮崎県	-	-	-	-	-	-	○
46	鹿児島県	○	○	○	-	-	-	-
47	沖縄県	○	○	○	○	-	-	-
開催合計		33 (29) ※2	33	36	35	33	22	6

2.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況（経年比較）

○都道府県別セミナーの未開催理由（経年比較）

- 一度でも開催がない都道府県について、未開催理由を見ると、新型コロナウイルス感染症の影響により開催しなかった場合を除き、何等かの糖尿病重症化予防の研修が開催されている。
- 初年度は、すでに研修が計画されていたため、プログラムに沿った研修を行わなかったケースが多い。
- 継続して開催していない都道府県は、都道府県独自のプログラムがあり研修プログラムの内容があっていないか、都道府県や医師会等が主体で事業を進めているため国保連合会が関わっていないかのいずれかである。

セミナーを開催していない年度がある都道府県の未開催理由一覧

都道府県	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
青森県	県において実施			未回答	主催・共催ではないが関わっている
岩手県	県において実施		新型コロナウイルス感染症拡大		
秋田県			未回答	マンパワー不足	KDB操作研修内で実施
山形県	市町村保健活動推進研修会において実施				
福島県		新型コロナウイルス感染症拡大	未回答		
茨城県	すでに研修計画済みだった	新型コロナウイルス感染症拡大			
埼玉県	すでに共同事業として事業が進んでおりセミナープログラムと合致しない	新型コロナウイルス感染症拡大	すでに共同事業として事業が進んでいる	すでに共同事業として事業が進んでいる	未回答
新潟県		新型コロナウイルス感染症拡大			主催・共催ではないが関わっている
長野県				別の研修会実施のため	
岐阜県	県糖尿病対策推進協議会において実施	県糖尿病対策推進協議会において実施	県糖尿病対策推進協議会において実施	主催・共催ではないが関わっている	主催・共催ではないが関わっている
静岡県	県において実施	県において実施	県において実施	県において実施	主催・共催ではないが関わっている
愛知県	KDB帳票の活用に関する研修で実施				
京都府					高齢者セミナー内で実施
大阪府	保険者協議会において実施				
鳥取県		県において実施	県において実施	未回答	県において実施
島根県		新型コロナウイルス感染症拡大	県において実施	県において実施	県において実施
岡山県		県において実施			
広島県	県において実施				
山口県		開催遅延			
徳島県	セミナープログラムには沿っていないが別途開催	新型コロナウイルス感染症拡大	未回答	主催・共催ではないが関わっている	主催・共催ではないが関わっている
高知県	県において実施	県独自のプログラムを実施	県独自のプログラムを実施	県独自のプログラムを実施	県独自のプログラムを実施
大分県	保険者協議会において実施	県において実施			
宮崎県	県において実施	県において実施	県において実施	県において実施	県が会議を実施
鹿児島県				主催・共催ではないが関わっている	未回答
沖縄県					未回答

※都道府県名濃いオレンジ背景は、5年間で一度もセミナーを開催していないところ。



研修プログラムに基づき国保連合会が関わって開催



何らかの別研修を開催



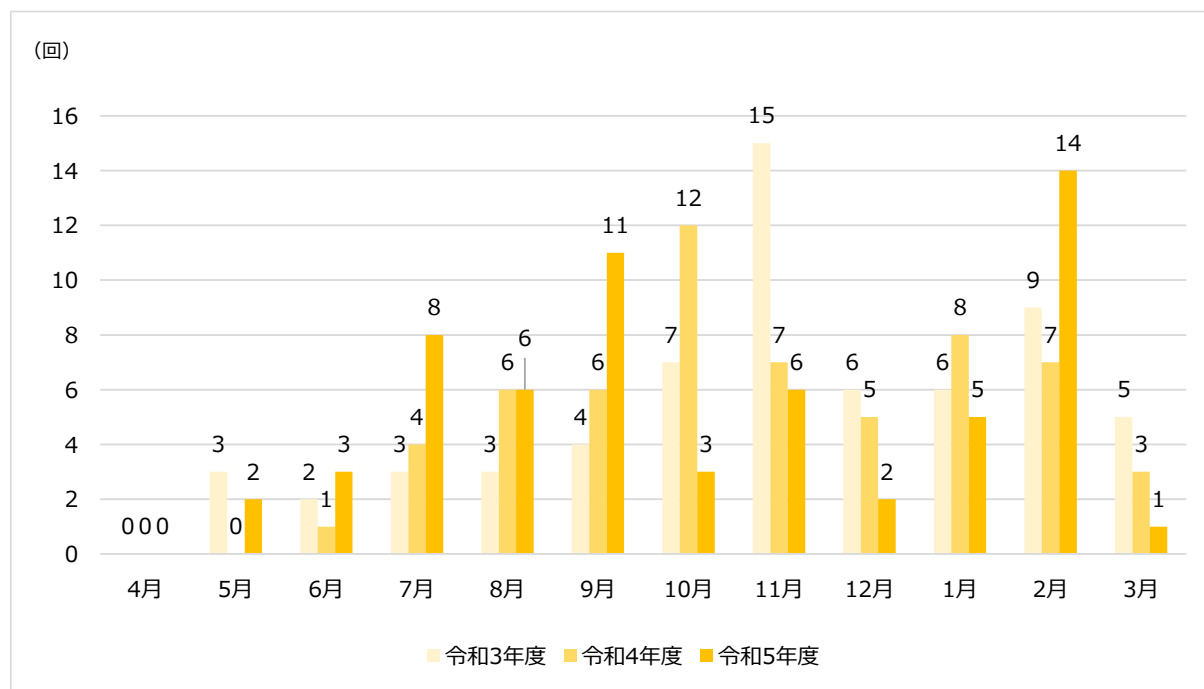
開催なし

2.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況（経年比較）

○セミナーの開催月（経年比較）

○**セミナーを開催した月**※について、開催月ごとの状況を過去3年間で比較したところ、令和3年度は11月が最も多く、傾向として年度の中盤にセミナーが多く開催される傾向であったが、それ以降はよりセミナーの開催時期が早まる・もしくは2月に多く開催されるなど、若干開催時期が二極化する傾向が見られた。

セミナーの開催月別の開催回数



調査対象：国保連合会
 セミナー数：令和3年度 43（複数回答）
 令和4年度 44（複数回答）
 令和5年度 38（複数回答）

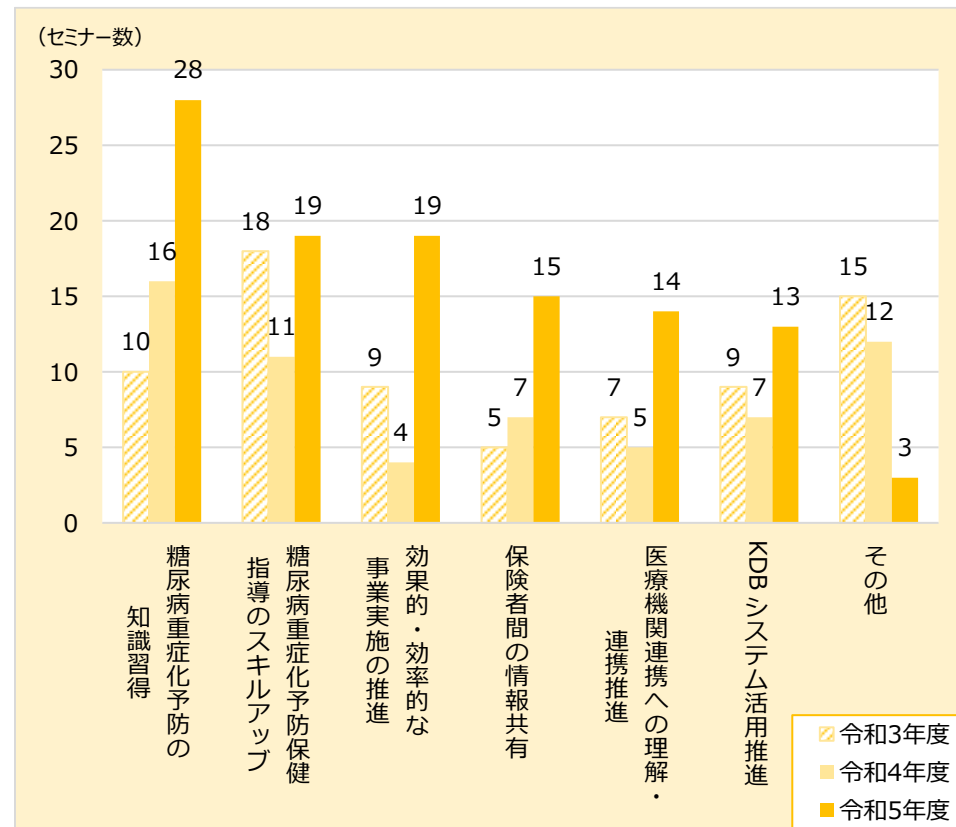
※ 同内容のセミナーを複数回開催している場合は、各回それぞれの開催した月でカウントし、長期間の動画配信等の場合は、初回配信月で1カウントし集計している。

2.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの開催状況（経年比較）

○セミナーを開催する目的・ねらい（経年比較）

○セミナーを開催する目的・ねらいについて、過去3年間で経年比較したところ、「知識習得」、「保健指導のスキルアップ」をねらいとしたセミナーが経年で多い傾向にあった。

セミナーの目的・ねらい



調査対象：国保連合会
セミナー数：令和3年度 43（複数回答）
令和4年度 44（複数回答）
令和5年度 38（複数回答）

3.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの参加状況（経年比較）

○セミナーの保険者別参加人数（経年比較）

○**保険者別の参加人数**は、任意回答のため参加人数にバラつきがあるものの、例年多くの保険者が参加していた。

○市町村国保では、衛生部門の参加が多く、都道府県では保健所の参加が多かった。
また、令和3年度の国保部門の参加人数は、一部の県にて同一のセミナーを多回数開催していたため、参加人数が大きく膨らんだ。

セミナーの保険者別参加状況

市町村

	令和元年度	令和2年度 ※1	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加市町村数	1,390	1,163	1,361	966	1,089
国保部門	503	842	2,162	672	404
衛生部門	1,645	1,606	1,658	1,754	1,643
介護部門	- ※2	-	64	54	43
後期高齢者部門	8	42	18	63	28
その他	786	22	227	332	79
参加人数合計	2,942	2,512	4,129	2,875	2,197

市町村以外

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
都道府県	264	233	346	231	111
うち保健所	146	145	250	144	113
広域連合	51	37	73	66	32
国保組合	98	52	74	62	19
その他	279	70	125	107	41
参加人数合計	692	392	618	466	203

※1 令和2年度以降は、Web開催等で参加人数の把握が難しい場合は、任意回答としている。

※2 令和元年度、令和2年度の介護部門については調査なし。

令和3年度、国保部門の参加者数が突出して多いが、全国の国保部門参加者2,162名中、北海道が764名、鹿児島県710名と2つの道県で3分の2以上を占めていた。
この2道県の研修の目的・ねらいを見ると、両方で、保険者努力支援制度への取組強化があげられており、国保部門への保険者努力支援の糖尿病性腎症重症化予防の認識を深める意図があったことが考えられる。

調査対象：国保連合会

回答数：令和元年度 29（複数回答）

令和2年度 33（複数回答）

令和3年度 36（複数回答）

令和4年度 35（複数回答）

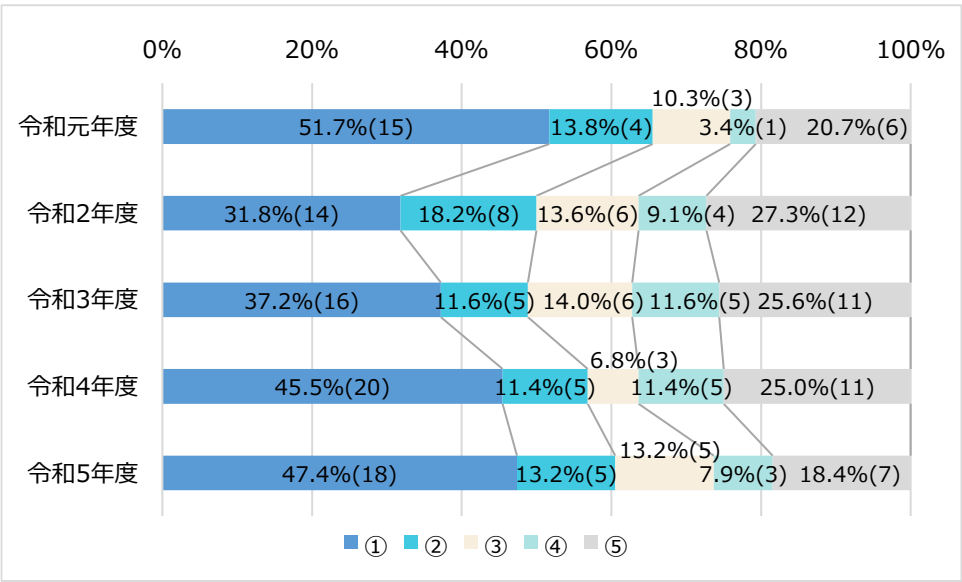
令和5年度 33（複数回答）

4.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの実施状況（経年比較）

○セミナーの主催者・共催者（経年比較）

- セミナー主催者、共催者**の組合せを集計すると、5年間全てで「国保連合会」の単独開催が最も多かった。
- 例年、ほぼ①～④の組合せで開催されており、4つの組合せで7割～8割を占めていた。

セミナーの主催／共催の組合せ



	主催者	共催者
①	国保連合会	なし
②	国保連合会	都道府県
③	国保連合会、都道府県	なし
④	都道府県	国保連合会
⑤	その他	

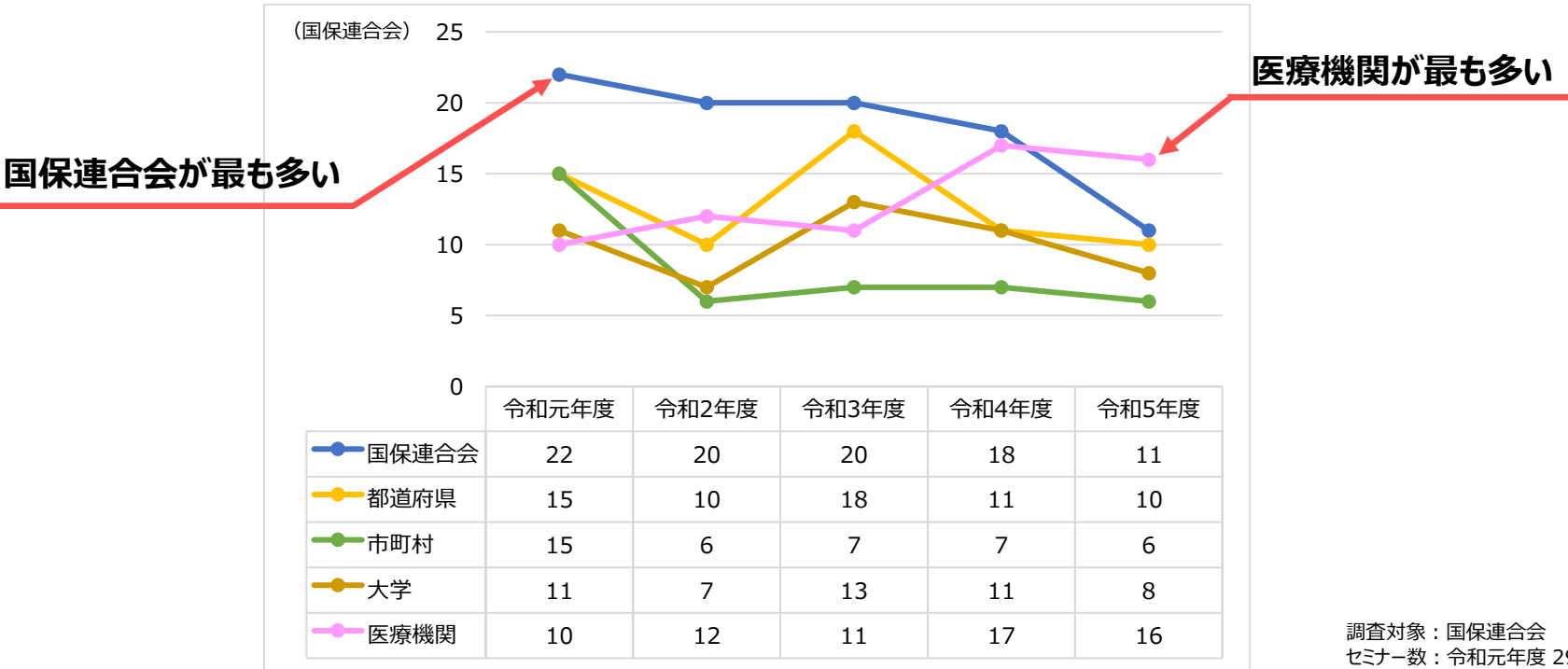
調査対象：国保連合会
セミナー数：令和元年度 29（複数回答）
令和2年度 44（複数回答）
令和3年度 43（複数回答）
令和4年度 44（複数回答）
令和5年度 38（複数回答） 32

4.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの実施状況（経年比較）

○セミナー講師の選定状況（所属別・経年比較）

○セミナーの講師の所属先※については、令和4年度までは「国保連合会」が最も多かったが、「医療機関」が令和4年度より増加し、令和5年度では最も多くなっていた。（セミナーを開催した国保連合会の約半数）

セミナー講師の選定状況（所属別）



※ 所属名称については、回答された講師の所属機関を基に分類し、都道府県別で集計。（令和5年度はP.12参照）
同一所属で複数人の登壇があっても1カウントで集計している。

調査対象：国保連合会
セミナー数：令和元年度 29（複数回答）
令和2年度 44（複数回答）
令和3年度 43（複数回答）
令和4年度 44（複数回答）
令和5年度 38（複数回答） 33

4.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの実施状況（経年比較）

○セミナー講師の選定状況（所属別・保健師・経年比較）

- 国保連合会、都道府県、市町村の講師は、事務職系と保健師等の医療専門職が行うケースがある。
- 国保連合会と都道府県は事務職が担当する割合が高く、市町村では約半数が保健師等の医療専門職が担当していた。令和元年度は割合が高く、令和2年度以降はその割合に大きな経年変化は見られなかった。

セミナー講師の選定状況（所属別・保健師）※

（国保連合会）

年度	国保連合会		都道府県		市町村		大学	医療機関
		うち、保健師等		うち、保健師等		うち、保健師等		
令和元年度	22	11	15	3	15	11	11	10
令和2年度	20	5	10	2	6	4	7	12
令和3年度	20	6	18	5	7	3	13	11
令和4年度	18	3	11	3	7	6	11	17
令和5年度	11	3	10	3	6	3	8	16

※ 所属名称については、回答された講師の所属機関を基に分類し、都道府県別で集計。（令和5年度はP.12参照）
同一所属で複数人の登壇があっても1カウントで集計している。

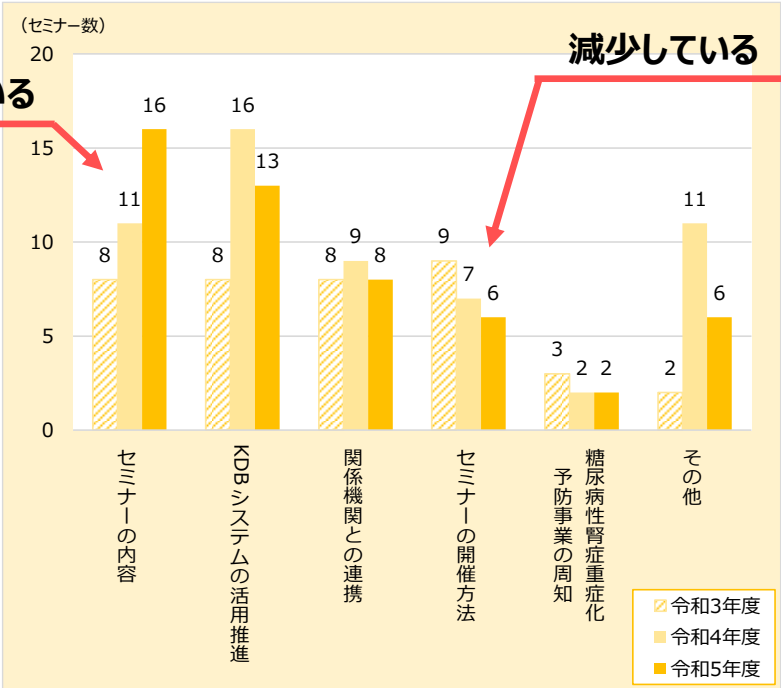
調査対象：国保連合会
セミナー数：令和元年度 29（複数回答）
令和2年度 44（複数回答）
令和3年度 43（複数回答）
令和4年度 44（複数回答）
令和5年度 38（複数回答）

5.糖尿病性腎症重症化予防セミナーの振り返り（経年比較） ～国保連合会の課題・保険者からの要望～

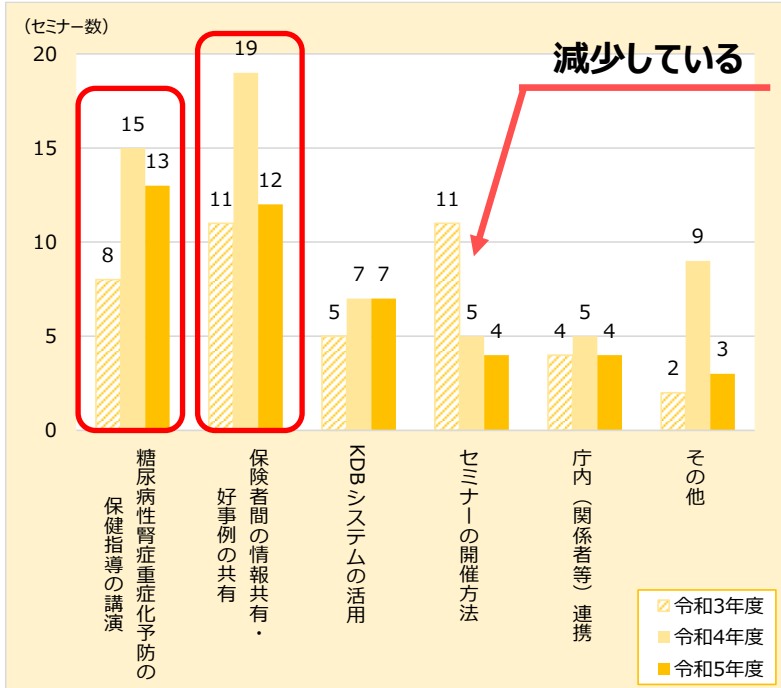
○国保連合会にとっての課題・保険者からの要望

○保険者からの要望では3年間を通じて「糖尿病性腎症重症化予防の保健指導の講演」及び「保険者間の情報共有・好事例の共有」が多く、国保連合会にとっての課題では、「セミナーの内容」が増加傾向にある。保険者からの良かった点、要望等の自由記述の内容を見ると、保健指導の方法に関する具体的な場面に踏み込んだ内容を評価する意見や、今後のセミナーで求める意見が多く見られる（P.15～P.18参照）。また、他保険者の事例に関しても具体的な保健指導の場面に即した事例を求める声がある。保険者においては、保健事業の取組を通じて、現場での保健指導の方法や実施ノウハウなどへの要望事項がより具体的になっている。

国保連合会にとっての課題



保険者からの要望



調査対象：国保連合会 セミナー数：令和3年度 43、令和4年度 44、令和5年度 38（複数回答）